

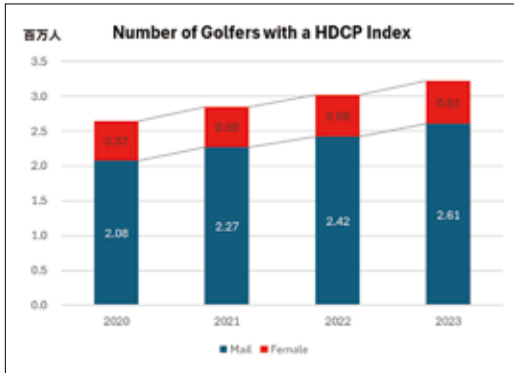
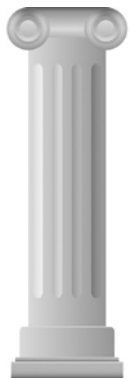
ハウレーカ!

なるほど、そうか

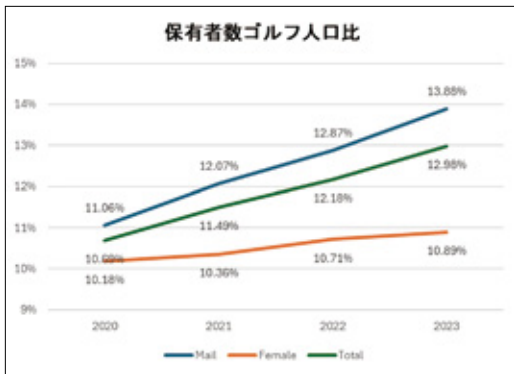
第40回

日米のHDCP取得にみるゴルフ普及のポイント

— USGAの発表資料詳細から見えてくる日本の課題 —
喜田任紀



ワールドハンディキャップシステム(WHS)が2020年にスタートしました。ゴルフの普及度を計るツールでもあるわけですが、4年が経過してどんな変化が起きているのかをまとめました。実は、米国ゴルフ協会(USGA)から最新(2024年6月1日現在)の米国ゴルフファアのハンディキャップインデックス(HDCPと表記)普及状況が発表されており、2020年以降過去4年間の普及状況が詳しくまとめられています。そこで、米国でのHDCP



普及状況を紹介するとともに、日本ゴルフ協会(JGA)の協力を得て日米の比較も行いました。まず米国の状況です。

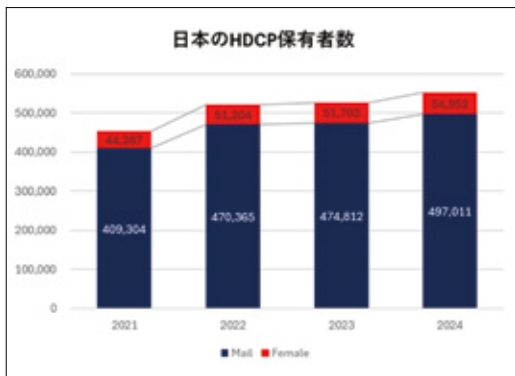
日米のHDCP取得者数

米国のHDCP取得者数は322万人で、男性は261万人、女性は61万人です。女性は全体の18・9%でした。4年前との比較では、男性は53万人、25・5%の増加、女性は4万人、7・0%の増加で、全体では57万人、21・5%の増加です。けっこう増えています。

この人数をNGFから発表されているゴルフ人口と比較すると、全ゴルフファアの13・0%がHDCPを持つており、男性ゴルフファアでの比率は13・9%、女性は10・9%です。

さて日本はどうでしょう。JGAから不定期ですがHDCPのデータを提供いただいており、2021年以降24年までのHDCP取得者数の推移をまとめたものが次頁の図です(最新の状況は<https://jga-handicap.com/>から確認いただけます)。

データとしてグラフにまとめたのはJGAのホームページにある登録中のゴルフファア数ではなくて取得者数です。データ取得日が毎年統一されていないので正しい推移とは言えない面もありますが、概ねこんな感じが増えていきます。なんとなく女性の取得者数が少ないのかな?という感じを持たれた人もいらっしゃると思います。このHDCPの取得者数に限らず、ベースとなる女性ゴルフファアの人数が増えなくてはいけないというこ



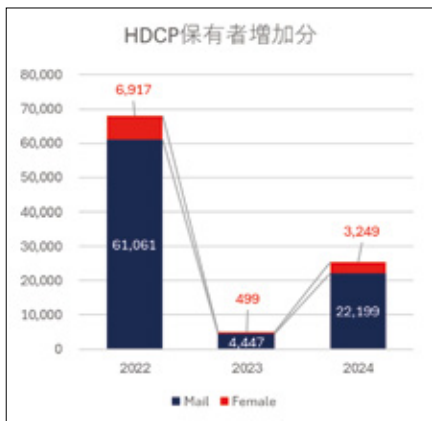
とがゴルフ振興に携わる関係者の共通した問題意識だと思えます。ゴルフを始めて、競技に関心を持つ結果、HDCPの取得と心が動く、のではないでしょう。以前、マズローの欲求5段階^{※1}について紹介しましたが、心理的には、ゴルフがしたという生理的欲求から欲求が高度化する中で、HDCP取得につながる承認欲求や自己実現欲求へと深化すると理解することでゴルフアートの心理の一端が理解されると思います。ここで考えおくべきは、すべてのゴルフ

アートの約10パーセントの人が高次元の承認欲求を持つということです。全員ではない。

日本のHDCP取得者数は、24年6月19日現在で55万1963人です。男性は49万7011人、女性は5万4952人で、全体に占める比率は9・96%です。日米のHDCPの普及率からは女性の進出をもっと支援しなくてはいけないとなります。

男女別の取得者比率は、男性が10・76%、女性は6・82%です。米国の比率と比較すると男女とも日本は4%ほど低くなっています。日本は人口減少社会へと社会構造が大きく変わっています。米国のように人口が増えている国と同列にゴルフ人口を捉えられませんが、現在の人口比を維持したとしてもゴルフ人口は減少してしまいます。だから、ゴルフ振興が重要というわけです。これは皆さんにとっては釈迦に説法ですね。

ところで、日本のHDCP取得者数の増加人数だけをグ



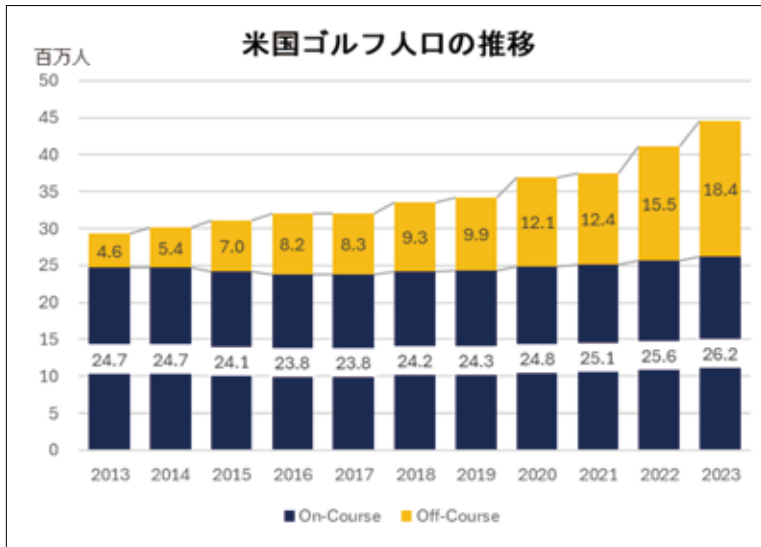
ラフにしました。2020年にWHSがスタートし、22年には6万7978人増加しています。増加ピッチはやや低くなっているように見えますが、ゴルフ人口の推移が影響することは避けられないと考えられます。

ここで米国のゴルフ人口についてNGFの調査結果を紹介します。

次ページのグラフにあるようにゴルフコースのプレー人口は2013年と比較して23年は6%増加しています。毎年1〜2%のペースで増えています。それでもNGFやUSGAはゴルフ振興に力を入れています。ここで

※1 マズローの欲求5段階で考えるゴルフ

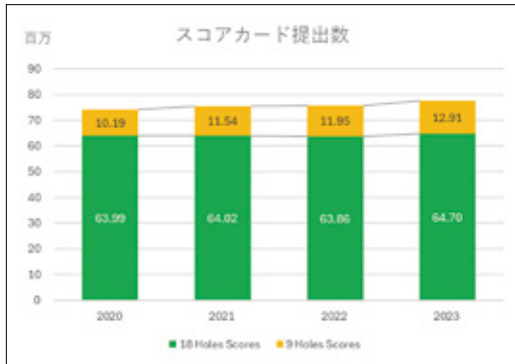
- 1 生理的欲求…ゴルフを始めたいという欲求がここに該当します。これは、ゴルフをプレーすることによる楽しみや運動不足の解消など、基本的な欲求を満たすためのものと言えます。
- 2 安全の欲求…ゴルフの基本的なルールや技術を学び、安全にプレーできる環境を確保することがここに該当します。
- 3 社会的欲求(所属と愛の欲求)…ゴルフクラブやコミュニティに参加し、他のゴルファーとの交流を通じて友情や所属感を得ることがここに該当します。
- 4 承認の欲求…自分の技量が認められ、他のゴルファーからの賞賛や尊敬を得ることがここに該当します。
- 5 自己実現の欲求…ゴルフスキルを最大限に発揮し、自己の可能性を追求することがここに該当します。これは、「上手くなりたい」という欲求とも関連しています。



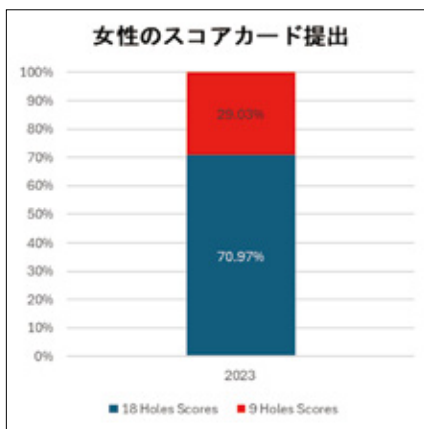
注目してほしいのがグラフにあるゴルフコース以外のゴルフ施設での利用者数の大幅な増加です。英国でも同じですが、このゴルフコース以外のOff-Courseと分類していますが、ゴルフ練習場と例えばトップゴルフのようなエンターテイメント性の高いゴルフ施設の利用者に注目し

は、Off-Courseのゴルフアワード企業でもあるNGFとしてゴルフに特化したマーケティング企業を誘導したい。大きな需要を見込んでいるわけです。日本ではどうでしょう。グラウンドゴルフなどOff-Courseに分類されるゴルフ施設も増えてはきましたが、スポーツ庁の調査結果を見る限り、米国ほどの増加にはなっていません。これまでのように、ゴルフコースと練習場の人口（利用者数）

だけを考えると厳しい将来がどうし

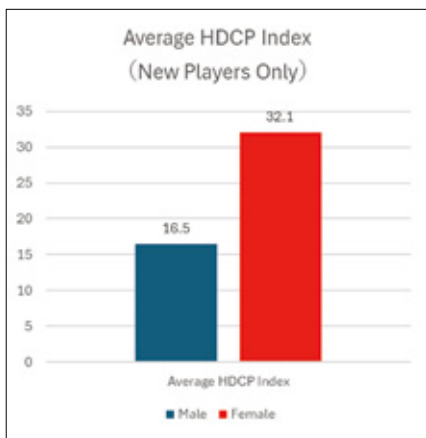
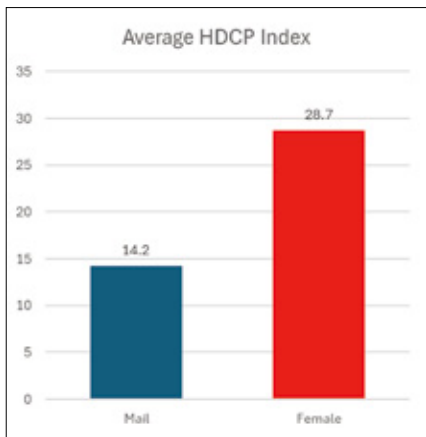


ても見えてきます。将来のマーケットへの希望をどこに見つけるか、これもゴルフ業界のテーマだと思うのです。その点で、Off-Course利用者をどう捉えるかも含め将来ゴルフ人口をどう考えるかが重要なテーマだと思います。さて、せっかくUSGAが詳しいデータを発表してくれているのですから、もう少しHDCPに関する米国に事情に触れましょう。米国と比較することで、日本のテーマが見えてくると考えます。



USGAの発表資料ではスコアカードの提出数がまとめられています。2023年は7761万枚です。注目してほしいのは18ホールでの提出と9ホールでの提出枚数です。特に注目するのは女性の提出状況です。結論を先にしますと、女性は9ホールでの提出数が多い。HDCP取得者数が多い裏付けだけでなく、女性は9ホールでのプレーが多いという事実を知ってほしいのです。もっとゴルフをしてほしいなら、プレー環境の

米国は9ホールプレーが多い。女性で約30%



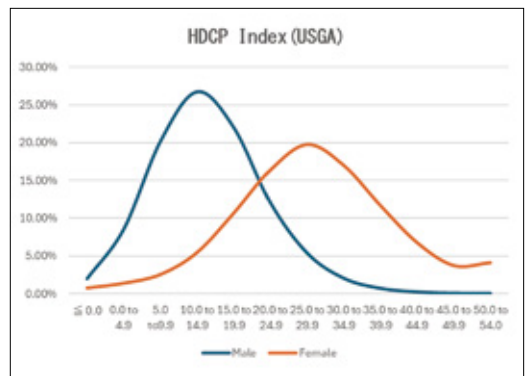
整備が重要です。ゴルフ業界の事情を優先するのではなくて、もっとプレーヤーファーストに徹しようということですが、詳しく紹介します。2024年の例では、全提出枚数の16・63%が9ホールでの提出枚数です。これを女性に限れば29・03%の女性が9ホールのスコアカードを提出しています。約3割の女性、ゴルフは9ホールのスコアを提出している。つまり競技志向の強い女性の内、3割は9ホールのプレーを楽しんだということですが、男性も14・24%が9ホールのスコアを提出しています。繰り返

返しになりますが、HDCPを取得しようというゴルフから競技志向が強いゴルファーと考えられます。すべての競技志向、ゴルフが18ホールのプレーを望んでいるわけではないという事実にも関心を持ってほしい。

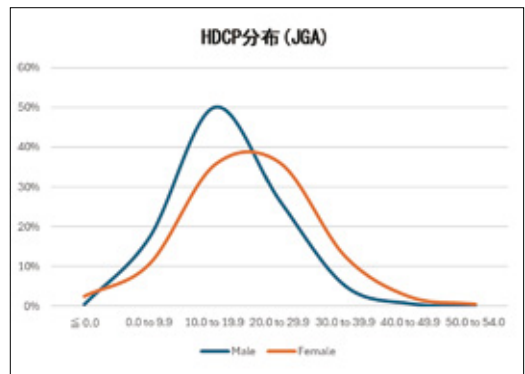
では、HDCP取得者の平均インデックスはいくつでしょうか。男性は14・2で、女性は28・7でした。新規にHDCPを取得した人の平均インデックスは、男性は16・5で、女性は32・1です。どのような感想をお持ちになりましたか？

HDCPインデックスの分布

が、以前の記事でも紹介しましたが、日本の記事でも紹介しました^{※2}が、日本の女性のほうがインデックスは低くなっています。これを見る限り日本の女性、ゴルフの方が腕前は上ということになるようです。日本は上手な女性がHDCP取得に積極的なのですかね。米国の例からは、HDCPの取得を含め、ゴルフ



も発表されています。右のグラフがインデックスの分布状況です日本の分布も載せました^{※2}



の普及という点で、9ホールでのプレーが重要なポイントだと分かります。さて皆さんは、HDCPのデータからどのようなゴルフ振興策が浮かびましたか？

USGA 出典：<https://www.usga.org/content/usga/home-page/handicapping/world-handicap-system/whs-stats.html>

※2：日本のHDCP分布は、筆者が簡易的に算出しています注：日本のHDCP取得比はスポーツ庁の調査結果から算出